

辛口について「何が、あったのか？」という問い合わせがありますので、これまでの状況をかいつまんで説明しますと…（若干、重複しますが…）

消防団連合会（3消防団団長の連名）からの、私に対する要望は、

- ① 議員を辞職せよ
  - ② 掲載した内容の根拠を示せ
  - ③ 消防団・団員に謝罪し、公然と虚偽を知らしめたことを市民に謝罪せよ
  - ④ 記載内容を訂正したチラシの発行と、ホームページへの掲載をせよ
- というものでした。

これに対し、以下のとおり回答しました。

辛口103号に掲載した、22年度の決算支出について

- \* 簿冊類の不備による規則違反
  - \* 公費による宴会の実施、酒・ビールの提供
  - \* 交付金による宴会とおぼしき支出
- は事実であり、許されないものであること
- \* 団員への報酬等を個人に渡さず分団にプールする形は違法かつ不当であること
  - \* 非常勤とはいえ、公務員の集まりである団体に対して、用途を特定せずに領収書も要求しないような不明瞭な交付金を交付すること自体、違法と考えられること
  - \* 用途が不明で、領収書の添付もないことは市民の血税の用途として、極めて問題であることを述べたもので、個々の消防団員を侮辱するものでも、消防団を中傷するものでもないこと
  - \* 22年度決算については、西尾市監査委員も遺憾の意を表明されている事実。

辛口103号の発行後、1か月以上も、本人に対しては、抗議も要望もせず、突如、11月24日、議長・市長に対して、  
「政治倫理審査会を開いて、鈴木規子議員を辞めさせよ」と申し入れ、  
その後も、2週間も本人に対しては、何もしないでおいて、  
（12月議会一般質問も終わった12月8日になってから）  
「反省がない、陳謝がない。議員の資質を疑う、辞職しろ」という郵便物を送りつけるのでは、話になりません。

従って、辞職せよとの要望には応じられない旨、指定された通り、配達証明郵便で回答しました。

こういう「やり方」が「消防団の流儀」だとすれば、  
残念としか言いようがありません。  
もっと早い段階で、なぜ、私に、直接、声をかけられなかったのか??です。

私としては、23年4月、一色町公民館で開かれた入退団式、式典後の訓練にも終日出席して消防団幹部の方々とは名刺交換。  
7月に田原市で行われた操法大会も拝見しましたし、決算議会の後も、機会ある毎に、消防団団長諸氏には、またお話ししようと呼びかけていたのですが。

もちろん、消防団の中には、地域のために頑張っておられる方々もおられることは承知しており、敬意を表すものです。その旨、回答書にも記しました。

要は、  
税金の用途について如何なものかという点、さらに、実態に即した消防団のあり方を考えるべきではないかという点での議論であることを、市民のみなさんにご理解いただきたいと思えます。

ちなみに、議長は、11月25日、私に対して、  
「こういう要望書が届けられたが、議長としては、辛口103号に掲載された内容については、決算審査の状況は事実であるし、あとは、鈴木議員が調査したものであるため、政治倫理審査会にかける類のことではないと考える。また、本要望書は議長宛のものであるから、見せる必要はない。本来、こうした要望は、本人であるあなたに届けられるべきものと思う。」と話されました。

従って、私は12月8日まで、ずっと「まったくの蚊帳の外」だったわけです。

議会は「言論の府」です。

私は、議員として、予算決算の事実に従って、各種事業の内容の可否、費用対効果等について判断し、過去と現在の財政状況に照らして、自身の見解を表明するものです。

「合併」という大きな事業に際しては、特に冷静な財政分析が必要と考えます。そうでなければ、その場に立ち会った議員としての責任を全うできないではありませんか。

逃げも隠れも致しませんし、資料類はいつでも、どなたにでもご説明しますし、喜んで意見交換をいたします。

しっかり現実を見て下さい。

初年度から「新市財政計画」は大きく破綻し、赤字団体に転落しています。

来年度の税収は、大幅な減収見込み。国の借金は1000兆円を超え、

大震災のなか、交付税は今後どうなるか、まったく予断を許しません。

「俺らがまち」のエゴばかり主張して、将来に責任が持てるのでしょうか！？

「行革」なしに市政運営ができるなら、どうぞ、やってみせて下さい。